

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	ごみ減量推進事業					担当部	市民生活部								
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	廃棄物対策課								
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	ごみ減量推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		5 ごみ対策		2 ごみの減量・分別に対する市民の意識を高めます									
		副目的	5-1													
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例、小牧市ごみ処理基本計画、小牧市分別収集計画 等														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市民や事業者に対して、ごみ減量化・再資源化や生ごみの堆肥化などを促進する事業を実施し、ごみ排出量縮減及び再資源化率の向上を図る。														
	内容 (手段)	<p>業務の効率化のため「ごみ減量化啓発事業」、「ごみ排出指導事業」、「ごみ排出抑制事業」の3事業を統合し、平成25年から「ごみ減量推進事業」とした。</p> <p>■平成25年度実施内容（直接経費 24,150,487円の内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生ごみ堆肥化促進事業 1,965,390円 コンポスト容器（130ℓ・200ℓ）及び密閉容器を各世帯につき、それぞれ2基まで無償貸与 H25実績：コンポスト容器130ℓ 37基、200ℓ 115基、密閉容器 117基 ○ごみの排出及び減量化に関するパンフレット・チラシを作成し、市民や事業者へ配布 ・環境センター爆発事故及び火災等に関する啓発チラシ(56,000枚) 441,000円 ・雑がみ分別啓発チラシ(38,000枚) 199,500円 ・資源・ごみ収集カレンダー(82,350部) 1,417,080円 ・私たちのくらしとごみ(1,600部) 378,000円 ・粗大ごみ処理手数料納付券（@460円×500部）241,500円 ・返信用封筒（長3サイズ 2,300枚）26,565円 ○廃棄物排出指導員2名によるごみ集積場や事業所を訪問しての分別及び排出指導 H25実績：ごみ集積場巡回数 2,548回、ごみ集積場指導 132件、事業所指導 47件 ○職員による出前講座の実施 H25実績：出前講座12回（受講者延べ583人） ○子ども服リユース事業 搬入：延べ1,324人 22,397着 搬出：延べ6,110人 20,462着 消耗品費：262,032円 ○事業所アンケート及びパンフレット送付の実施 H25実績：パンフレット送付数 5,125事業所（内アンケート送付数 2,000事業所）801,295円 業務委託先：N T Tタウンページ株式会社 中部営業本部 ○資源回収団体奨励金交付事業 登録した資源回収団体が回収した資源量に応じ、奨励金を交付（5円/kg） H25実績：97団体、2,104,636kg、決算額10,719,666円 ○家庭用生ごみ処理機購入費補助事業 市内量販店で購入した生ごみ処理機の購入費の一部を補助（購入費の3/5 上限3万円） H25実績：47基、決算額1,381,831円 ○民設民営古紙コンテナ設置 H25実績：1箇所（西友 藤島店） <p>■平成26年度実施内容 平成25年度と同様に実施する。</p>														
	受益者負担	無														

コスト	費用			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
		直接経費		千円	20,196	21,247	24,151	32,507
費用	正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
		人件費	千円	5,260	5,260	5,260	5,260	
	その他職員	従事者数	人	1.40	1.40	2.50	2.50	
		人件費	千円	2,240	2,240	4,364	4,364	
費用合計		千円	27,696	28,747	33,775	42,131		
対前年比		%		103.7	117.4	124.7		
財源	一般財源		千円	27,696	28,747	33,775	42,131	
	国・県支出金		千円					
	その他財源		千円					

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	出前講座・説明会の実施	回	目標	12	12	12
実績				15	18	12	
生ごみ処理機等利用世帯数		世帯	目標	11,700	11,800	12,000	12,000
			実績	11,331	11,585	11,811	
資源回収団体登録数		団体	目標	120	120	120	120
			実績	117	116	119	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
家庭系ごみの一人1日あたりの排出量（資源を除く）		目標	457	453	449	445	
		実績	453	454	445		
再資源化率		目標	28.0	28.0	29.0	29.0	
		実績	27.0	26.2	26.3		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 共同住宅におけるごみの排出指導要綱を平成25年4月1日に施行し、共同住宅の入居者、管理会社等に指導を実施したり、民設民営の古紙回収コンテナの設置を進めたことにより、目標値には達しなかったが、「家庭系ごみの一人あたりの排出量」「再資源化率」は向上した。 篠岡地区からの要望事項である第2資源回収ステーションの設置について予算化を図った。 	
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> 共同住宅の排出等については、平成25年4月に施行した「共同住宅におけるごみの排出指導要綱」をより実効性の高いものにするため、条例化を視野に入れ検討する。 民設民営による古紙コンテナ設置については、多くの地区で要望があるが、スーパー等の理解を得ることが非常に難しいため、折衝の機会を増やし、理解を求める必要がある。 	
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民や事業者に対し、ごみの分別排出と3Rの必要性の周知を継続して行わなければ、市民、事業者の意識の低下を招き、結果的には、ごみの排出量の増加につながり、市のごみ処理費用の増加を招く。	
		平成26年度の改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 26年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等） 生ごみ堆肥化容器等の実態調査を実施して、使用率の向上を図る。 環境センターの炉の更新に伴い、ごみ分別の見直しを図り市民の利便性の向上を図る。合わせて、「ごみ・資源の分け方と出し方」の内容を一新し、ごみの分別排出と3Rの必要性の周知を図る。 適正処理困難物であるパソコンの行政回収を実施する。 	
		平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持
		判定理由	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量や分別排出の意識の向上のためには、今後もパンフレット等での啓発は非常に有効であり、引き続き実施する必要がある。 生ごみの堆肥化容器や資源回収活動については、これまでの啓発活動の成果もあり、既に定着しており、着実にごみ減量の成果に繋がっている。 	
		27年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> 雑がみの回収強化や民設民営による古紙コンテナなど「燃やすごみ」の混入の上位を占める紙類の分別意識の定着がある程度図れてきたため、他自治体の状況から「剪定枝」の回収に着手する。 	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。